

〈解答〉

- ① 1 ① 小説 ② 演劇 ③ 演劇

- 2 イ・オ(順不同)

- 3 〔例〕 観客、作者、演出家、演者が、めいめいの意図や解釈を集約してつくり上げる (35字)

配点 ① 3は3点、2は各2点、他は各1点 10点満点

〈解説〉

①

- 1 演劇は、それがもつ総合性により芸術的価値を減する傾向にあった一方で、じかに作者の書いたものに触れることができる小説やレーゼドラマなどが栄えるようになったとあることから、①には「小説」が、②には「演劇」がそれぞれ入るとわかる。また、「原作者の作意はきわめて多くの改変を受けることになるが、それを嫌っては③は成立しない」とあることから③には、演劇化の過程で多くの改変を受ける「演劇」が入る。

- 2 傍線④の直前に「そのこと」とあることから、「作者や観客が意識していないこと」は傍線④よりも前にあるとわかる。第七段落で、観客は、「作者の考えそのままが作品を完結させるのではなく、享受者に解釈の自由が大きく許容されているということ」を、作者は、「作品の成否を、舞台を成立させる関係者に委ねる」ことをそれぞれ意識していないと述べられていることから、イ・オが適当である。

- 3 第六段落で、筆者は、「演劇は作者の主観、思想、意図をそのまま伝える様式ではない。多くの参加者、観客をふくめて、作者、演出家、演者がすべて、めいめいの意図、解釈を集約してつくり上げる芸術である」と述べている。この部分を「演劇はく芸術である」という前後の言葉に合うように制限字数内にまとめる。